



仲間と協力し、充実した1泊2日 宿泊学習

7月9、10日に、5年生が自然の家での宿泊学習に行ってきました。2日間とも大変暑い中でしたが、雨の影響も受けずに最後まで元気に活動しました。1日目は、まず、いかだアドベンチャーと原始の火起こし。二つとも、班のみんなとの協力無しでは何もできない活動です。特に雨が降る中での原始の火起こしは、なかなか火が付きません。板や棒をのこぎりと小刀で切ったり削ったりするのも一苦勞。やっと道具の準備ができてロープを引いてみますが、全然うまくいきません。ちょうどいい加減で棒を押さえるのが難しいのです。何回もチャレンジする中で少しずつコツをつかみロープを調子よく引くことができるようになりました。声を合わせ汗だくになりながら引き続け煙が出てきますが、なかなかつきません。何とか2つの班が火をつけて、炊飯とキャンプファイヤーの種火にすることができました。

「火はつかなかったけど、一生懸命やったからこそ、とってもくやしい。」という感想が印象的でした。その後の炊飯活動では、「ぼく、これやるよ。」「〇〇さん、これお願い!」「わかった!」と、自分たちで仕事を分担して活動できました。特に感心したのは後片付けです。生ごみの処理やこげた鍋を必死に洗い、時間通りにきれいにすることができました。2日目の東黒森山ウォークラリーでは、暑い中、くたくたになりながらもみんなで声を掛け合いゴールしました。

宿泊学習の醍醐味は、事前に考えていたことがほとんどうまくいかずに、本当にみんなで知恵を出し合い助け合わないとは活動できないところです。実感を通して学んだ、にじいろ学年のチャレンジはとても貴重な体験となりました。





山形一小での水泳授業始まる

学校の歩みをみると、本校のプールは昭和58年7月に新設されたようです。それから42年。昨年度プールの水漏れが発生しその原因が特定されず、今年度から水泳学習は山形一小のプールに出向いて行うことになりました。山形市が用意したマイクロバスに乗って、各学年、1回2時間の学習を5回行う予定です。これまでは1学期中に水泳学習は終えていたのですが、一小さんとの兼ね合いから1学期中は、各学年1回ずつ行い、後は2学期に入ってから4回行います。一小のプールは一般開放も行う室内プールで、最近の猛暑の影響も受けず、また、水温や水深も変えることができるので、上学年から低学年まで快適に泳ぐことができます。実は、全国的に、プールの老朽化が問題になっていて、民間のスイミングに委託するところや公営のプールを利用して水泳学習を行う所が増えていきます。これまでよりは、水泳の授業の回数が少なくなりますが、効率よく、泳ぐ時間を長く確保し、泳力をつけていきたいと思います。そのためにも、保護者の皆様、プール道具の忘れや「泳げます」チェックを忘れずにお願いします。



不審者への対応の仕方を学ぶ

7月2日（水）、1、2年生が、山形警察署の方々をお招きし、不審者対応避難訓練を行いました。警察の方が不審者に扮し、各学年代表児童に「お菓子あげるから。」「公園の場所を教えて。」「かわいいから写真撮ってもいい？」などと声をかけ、代表児童の反応をもとに、みんなで対応の仕方を考えました。声をかけられると、なかなか大きな声が出せないようでした。「いか・の・お・す・し」に加え次のようなことを学習しました。



- ・すぐに逃げられるように相手との距離を2mとる。目を離さない。足を引いておく。
- ・ランドセルをつかまれたときは、ランドセルをぬいで逃げる。
- ・「助けて!」と、いつでも大きな声を出せるように、ふだんから大きな声で挨拶をしよう。



夏季休業中の電話対応について

7月25日～8月25日の夏季休業期間中の平日は、16時55分から翌朝8時25分まで留守番電話の設定にさせていただきます。また、土日祝日、学校閉庁の8月12日～15日は、終日留守番電話の設定となります。事故など緊急に連絡が必要な場合は、次のアドレスにメールにてご連絡ください。よろしくお願いします。

山形三小緊急メール：kinkyuu@dai3-e.ymgt.ed.jp